スピーカーシステム

型名 SX-LT55MK2

目　次

お買い上げいただき、ありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この**「取扱説明書」**をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に 2 ～ 3 ページの「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT1486-001A

安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

●この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

●この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号

一般的注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

行為を指示する記号

一般的指示

⚠ 警告

ご使用について

■ネジをはずしたり、分解、改造したりしない

分解禁止

・内部の点検や修理などは、販売店にご依頼ください。

■スピーカーは定格入力を超えるアンプに接続しない

・スピーカーの定格入力や定格インピーダンスに不適合のアンプで使用すると、火災、感電の原因となります。ご使用の際は取扱説明書をよくお読みください。不明な点がありましたら、販売店やサービス窓口にご相談ください。

■本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない

・頭からかぶると窒息の原因となります。

設置について

■移動するときは、2人以上で持つ

・SX-LT55MK2は、重い（22kg）ので開梱や持ち運びは必ず2人以上で行ってください。けがの原因となることがあります。

■不安定な場所に置かない

・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

ご使用について

■スピーカーに乗ったりもたれかからない

・スピーカーに乗ったりもたれかかったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

■はじめから音量を上げすぎない

・アンプの電源を入れる前に、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり聴力障害などの原因となることがあります。

■接続するときはアンプの電源を切る

・スピーカーをアンプに接続する際はアンプの電源を必ず切ってください。電源が入った状態でコードをショートさせると、アンプが故障したり、火災、感電の原因となることがあります。

■長時間、音が歪んだ状態で使用しない

・長時間、音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

■本機の上に重い物を置かない

・テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり落ちたりして、けがの原因となることがあります。

■音楽鑑賞以外には使用しない

・リスニングルームの音響特性の測定など、音楽鑑賞以外の用途には使わないでください。スピーカーを破損したり、火災の原因となることがあります。

付属品の確認

ご使用になる前に本機の付属品をご確認ください。不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- この製品には付属品の他に、取扱説明書（本書）、保証書が添付されています。

・サランボード 1個
・フット 2個
・取り付け用ネジ 4本

お手入れについて

スピーカーシステムの手入れをするときには

- スピーカーシステムの汚れは柔らかい布（ネルなど）で軽くふき取ってください。
  汚れがひどいときは、中性洗剤でふき取り、乾いた布で仕上げてください。（ご使用の中性洗剤については、その注意書きにしたがってください）
- スピーカーの表面をベンジン、シンナーなどで拭いたりしないでください。変質したり、塗料がはがれることがあります。

特　長

1. パルプシート仕上げキャビネット

木材を原料とするパルプシートをキャビネットの表面仕上げに採用しました。明るく開放的な音色を持つパルプシートは、高音質で定評のある突き板仕上げに迫る音楽表現力を持ち、今まで以上にオブリコーンユニットの良さを引き出します。高級感のある全光沢塗装仕上げを施し、品位のある外観に仕上げています。

2. スタガード・バスレフ

低音域の音階を明瞭に表現できるように、チューニング周波数をスタガーさせた二つのバスレフ低音を合成しています。低域インピーダンスの山谷を減少させることで、アンプの駆動力を有効に利用し、低域再生能力を高めています。MK2ではさらに厚みと力強さを持つ音にするために、ボトムウーハーの磁気回路を強化（約10%磁束密度を向上）しています。

3. 14.5cmダイナミックバランスド・メタル・オブリコーンウーハー

口径14.5cmのオブリコーンの振動板に、樹脂コーティングをほどこしたアルミニウムを採用。軽量高剛性のアルミニウムの良さを生かして、滑らかな高域特性を持つオブリコーンにすることで、スピード感がありながら自然な音色を実現しています。

4. 1.9cmツィーター

アルミニウム振動板の表面に金プレーティングを施し、80kHzを超える超音波帯域まで再生可能としたドームツィーターを採用。演奏会の雰囲気を表現することが出来ました。

ご使用の前に

■設置上の注意

- キャビネットの変形・変色を防止するため、直射日光や湿気の多い所、冷暖房器の近くなどを避けて設置してください。

- スピーカーの振動でハウリングを起こすことがあります。できるだけレコードプレーヤーから離してください。

- 本機を移動させるときは、引きずらずに2人で持ち上げてください。
- 本機はカラーテレビに対して色むらを起こさないように防磁処理をしたスピーカーですが、設置方法によっては色むらが生じる場合もありますので、設置の際は次の点に注意してください。
  1. 本機と一緒にテレビを使用する場合は、必ずテレビの主電源スイッチを切った状態で設置してください。なお、テレビの主電源スイッチは、切ってから少なくとも30分後に入れるようにしてください。
  2. テレビの種類によっては、色むらを生じることがあります。色むらを生じるときは、十分離して設置してください。

よい音で聞くためには

■スピーカーシステム設置の配慮

スピーカーシステムの再生音はリスニングルームの条件によって微妙に影響を受けやすいものです。
設置時には背面の壁から30 cm、側面の壁から50 cm程度離すことを、おすすめします。
また、ステレオの配置は、両スピーカーの間隔を1.5 m～2.0 mとし各々のスピーカーシステムをやや内側に向けることを、おすすめします。
これは本機をご使用になるリスニングルームの諸条件により変化しますので、上記を目安とし、音場が拡がり、音像がはっきりと定位する位置に設置することをおすすめします。
なお、本機はリヤーバスレフ方式で、後面にダクトがあります。背面の壁等で、ダクトがふさがってしまうと、低音の再生が大きく損なわれますので、ご注意ください。

■音場の改善

- 反射または共振を起こしやすい洋間では、厚手のカーテンやジュータンなどをお使いください。
  また、スピーカーの正面（向かい側）が固い壁やガラス戸などの場合には、反射や定在波の発生を防ぐ目的で厚手のカーテンなどで吸音処理することをおすすめします。

■ステレオを聞くときのエチケット

- ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

フットの取り付け方

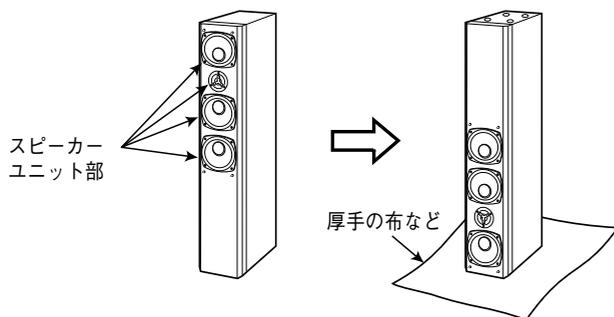
転倒等の事故防止のため、必ずフットを取り付けてご使用ください。

■フットの取り付け作業上の注意

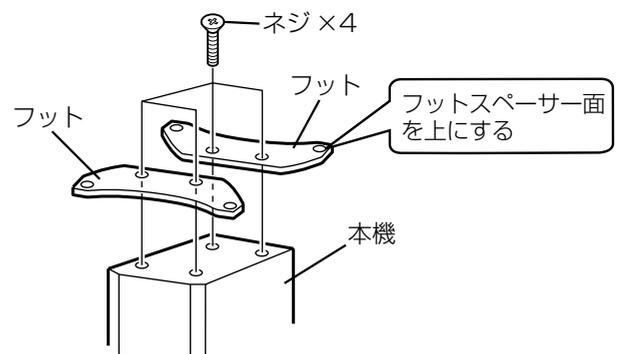
- フット又は本機を足の上に落とさないようにしてください。けがをする恐れがあります。
- フット又は本機を床に落とさないようにしてください。床に傷がつくことがあります。
- 本機に傷がつかないように床に厚手の布などを敷いて作業してください。
- 取り付けは 2 人で作業するか、倒れないようにして取り付けてください。
- 本機は長さがありますので、十分なスペースを確保してください。ぶつけて破損したり、傷がつくことがあります。
- スピーカーユニット部にはふれないでください。

■フットの取り付け

1. 本機をさかさまにする

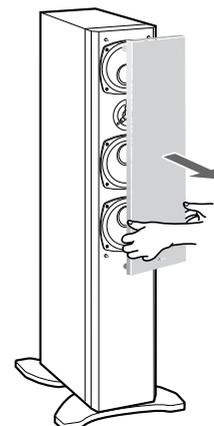
- 本機をさかさまにして、底面を上にします。

2. フットを取り付ける

- ⊕ ドライバーを用意してください。
- 本機の底面に、前後のフットを付属のネジ4本でしっかりと固定します。

ご注意

フットを取り付ける際に、フットを落とさないように注意してください。

サランボードの取り外し

●サランボードの取り外し

サランボードを取り外す場合は、サランボードの下側を両手で持ち上へ持ち上げるようにして取り外します。
また、サランボードを取り付ける場合は、サランボードの凹部と本体の凸部を合わせて確実に押し込んでください。
なお、その際は強く叩かないでください。

アンプとの接続

■接続のまえに

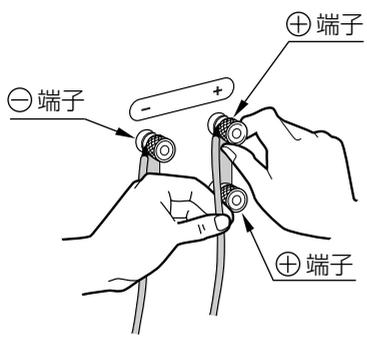
- スピーカーシステムをアンプに接続するときは、アンプ側の電源を必ず切ってください。電源が入った状態でスピーカーコードをショートさせますと、アンプを故障させる恐れがあります。
- 本機の定格インピーダンスは６Ωです。
  負荷インピーダンス6Ωが接続できるアンプをご使用ください。
- 本機の最大入力（JIS）は 150 W です。
- 本機にはアンプと接続するスピーカーコードを添付しておりません。スピーカーコードは次の点にご注意してお選びください。
  1) スピーカーコードはできるだけ短く、芯線の太いもの（最大φ 4mm）をご使用ください。
  2) アンプとの距離の関係で左右の長さが異なる場合には、長い方に合わせて揃えてください。
  3) リッツ線、同軸線などの特殊なスピーカーコードや、方向指定のあるコードは固有のキャラクターが微妙に音質に影響する場合があります。
     十分ご検討の上お選びください。

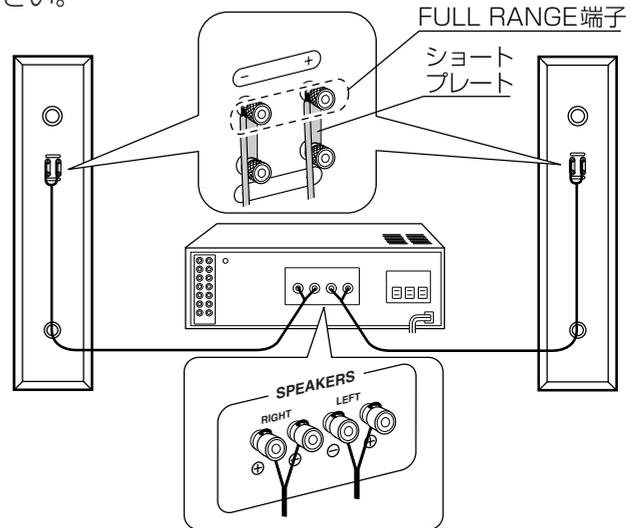
■アンプのボリューム

一般にはミュージック・ソースを入力した場合、アンプのボリュームが半分以上になりますと、アンプの出力歪み（音が割れる）が増加して、スピーカーを熱的、機械的に破損させる恐れがありますので、これ以下のボリューム位置でご使用ください。

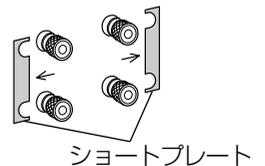
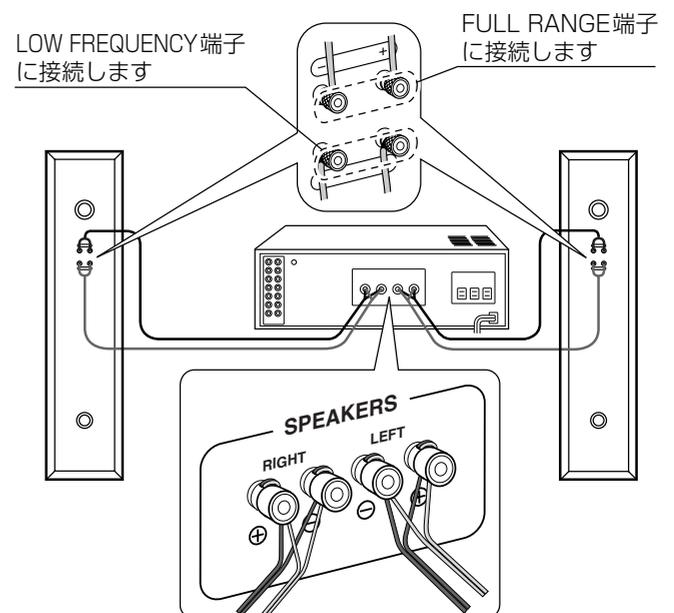
■接続のしかた

● 下図をご参照のうえ、本機の入力端子とアンプの“SPEAKERS（スピーカーズ）”端子をスピーカーコードで接続してください。

"INPUT（インプット）"端子のうち赤が ＋ 端子、黒が － 端子です。
図のようにスピーカー端子のつまみを左（↶）方向に回し、スピーカーコードを溝に差し込んでから、今度はつまみを右（↷）方向へ回してしっかり締めつけてください。
＋、－の極性を間違えますと、ステレオ感や音質が大きく損なわれます。

■通常の接続

1. “FULL RANGE” のつまみをゆるめます。
2. 次に “FULL RANGE”端子の溝にスピーカーコードを差し込みショートプレートと共にしっかり締め付けてください。

■バイワイヤリングの接続

本機ではバイワイヤリングの接続ができます。通常の接続の場合と比較しても、音場に拡がりと奥行感がでて性能がさらに向上します。

1. 全てのつまみをゆるめ、ショートプレートを取り外します。

2. “FULL RANGE” 端子および “LOW FREQUENCY” 端子に、それぞれ別々のスピーカーコードを接続し、アンプの “SPEAKERS” 端子の同じ端子に接続してください。なおこの場合、“FULL RANGE” 端子および “LOW FREQUENCY” 端子とアンプの “SPEAKERS” 端子 ＋、－ をそれぞれ合わせて接続します。

入力ソースについて

■CD／DVDなどのデジタル系ソースを再生する場合

レコードにはスクラッチノイズが、カセットテープにはテープヒスノイズがありますが、デジタル系ソースではノイズがほとんどなく無音から急に音楽信号が入ってきます。また、ダイナミックレンジが広く急激に音が立ち上がりますので、スピーカーに過大入力が加わらないようアンプのボリュームに注意してご使用ください。

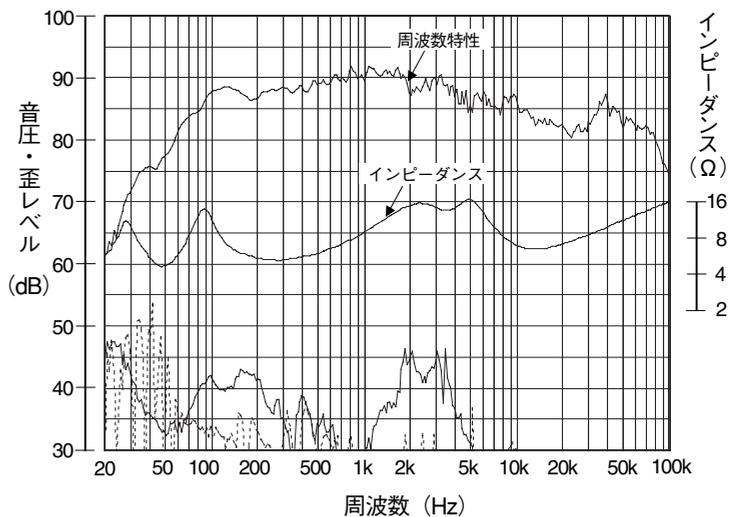
■特殊な入力信号の場合

次のような特殊信号が本機に加えられると、過大電流による焼損断線事故の原因となることがありますので、十分注意してご使用ください。

① FMチューナー選曲時の大きなノイズ。
② テープデッキの早送りによる大出力の高い周波数を含んだ信号。
③ アンプやチューナーなどの“ON”、“OFF”時のショック音。
④ 接続端子の抜き差し時のショック音。
⑤ カートリッジ交換時のショック音。
⑥ 発振器や電子楽器などによる連続的な高い周波数成分の音。
⑦ マイク使用時に起こりやすいハウリングの音または発振音。
⑧ 引き回されたスピーカーコードによるアンプの高域発振出力。

仕　様

種　類	3ウェイ　4スピーカー バスレフ型　防磁形（JEITA）
使用スピーカー	
低　域　用	14.5cmコーン スピーカー
中　域　用	14.5cmコーン スピーカー×2
高　域　用	1.9cmドーム スピーカー
定格入力（JIS）	37.5W
最大入力（JIS）	150W
定格インピーダンス	6Ω
クロスオーバー周波数	100Hz、4,000Hz
再生周波数帯域	32Hz～80,000Hz
出力音圧レベル	89.5dB/W・m
最大外形寸法	幅300mm×高さ1027mm×奥行345mm 幅180mm×高さ1000mm×奥行326mm （サランボードとフットを除く）
質　量	22kg（本体）

特性図

JEITAは、電子情報技術産業協会の規格による数値です。

（注）本機の仕様および外観は、改善のために予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス（必ずお読みください。）

保　証　書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保　証　期　間

お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**にご相談ください。

ご転居等、保証書記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合には、添付の**「ビクターサービス窓口案内」**をご覧のうえ最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

修理を依頼されるときは　出張修理

お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	スピーカーシステム
型　名	SX-LT55MK2
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も併せてお知らせください
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎(　　)　－

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

修　理　料　金　の　仕　組　み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
＋	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
添付の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル 0120-2828-17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話 (045) 450-8950 FAX (045) 450-2275 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

- ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

AV&マルチメディアカンパニー

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

1005NSMSANSAN